



講師の斉藤氏から説明を聞く (ミヤマカタバミとコミヤマカタバミの違い)

【メモ】

実施日時：H29/06/19 8:00～16:00頃迄
場 所：大松倉ゲートから約三ツ石山頂付
近まで約4.4km区間
内 容：植物観察とセイヨウタンポポ駆除
参加者：全8名
講師：斉藤安正氏
VC：大堀、坂内
PV：米田、家子、民部田、佐藤、阿部

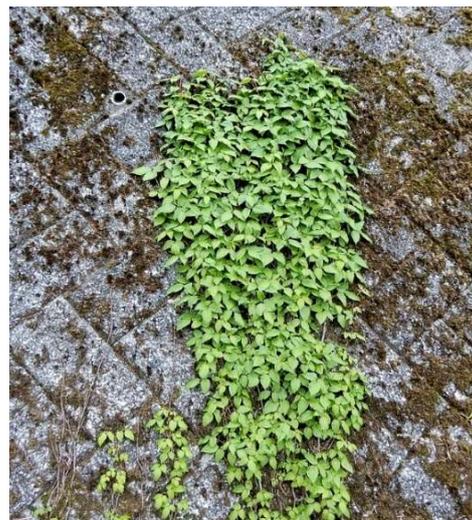
〔結果〕

- ① 今回、斉藤講師から現地での説明を受けた植物は軽く200種を超える。
特に、奥産道沿いには予想外に多様な植生があることが判った。
- ② その中にも、日本三大有毒植物とされるドクウツギがあったのには驚いた。葉から根まで全部が猛毒とのことなので、手を触れないよう注意したい。
(今回、2か所で確認した)
- ③ セイヨウタンポポ駆除は今年6月9日に続き2回目であった。
最も気にしていた三ツ石山荘周辺には前回の駆除が効いているようで新たな発生は認められなかった。
(在来種らしきもの1株は残置中)
奥産道沿いは今後も継続して駆除作業を行う必要がある。

【要注意植物】・・・触れてはならない！



ドクウツギ 「日本三大有毒植物」の一つ
ドクゼリ、オクトリカブトと並ぶ猛毒植物
食べると死に至る。葉に触れても有害



ツタウルシ
「ウルシ属最強のかぶれ植物」
紅葉は美しいが・・・。



三ツ石湿原にはコバイケイソウも花芽を見せていた



雪渓トラバースも楽しめる



三ツ石山頂一帯は新緑が美しく色とりどりの花々が眼を楽しませてくれる



雄大な原生的景観を見せる岩手山
この静かな佇まいが心を癒してくれる

【奥産道のセイヨウタンポポ駆除】

6月9日に続き2回目のセイヨウタンポポ抜取り作業を行った。
舗装と側溝等の隙間に生えているものは根まで抜けないので、地上部をむしり取った。



〈セイヨウタンポポ駆除〉

奥産道大松倉ゲートから連絡道入口付近まで、路側にセイヨウタンポポの花が目立ったので、今シーズンから駆除を試行することとして取り組んでいる。

大半が地上部のむしり取りしか出来ない現状だが、種子の飛散を減らす効果は確実にあると思われる。

今後、より一層効果的な駆除方法等を研究して、これ以上増やさないようにしたい。

今回の駆除方法は往復ともに目についたものの引き抜きを行い、登山時は抜き取ったものを路面に残置し、下山時に回収と併せて見落とした個体の駆除を行った。

今回の駆除量は重量で3.1kgだったが、登山時に抜き取ったものは完全な乾燥状態だったので、生体換算では約4kgとなると推定した。



【三ツ石山の花紀行】下見会 2017(月29)/06.19